

# 富山県

本人中心の支援にあたり前のこととして  
取り組める人材の育成を目指して

富山県では、入院の長期化を防ぎ、また、長期入院者であっても本人中心の支援にあたり前のこととして取り組める人材の育成に取り組んでいます。

## 富山県



## 取組内容

- H19～20 精神障害者地域移行コーディネーター養成事業
- H21～22 精神障害者地域移行支援特別対策事業
- H23～ 精神障害者地域共生支援事業
  - ・高齢長期入院患者退院支援事業 (H24～H26)
  - ・ピア・フレンズ養成事業
- H27～ 精神障害者地域サポート強化事業
  - ・ピア・フレンズ派遣事業
- H30～ 精神障害者アウトリーチモデル事業
- H30～ 精神障害者アウトリーチ事業
- H30～ 精神障害者の地域移行支援事業

## 基本情報

障害保健福祉圏域数 (H30年4月時点)	4	か所			
市町村数 (H30年4月時点)	15	市町村			
人口 (H29年10月時点)	1,055,893	人			
精神科病院の数 (H30年2月時点)	30	病院			
精神科病床数 (H30年2月時点)	3,194	床			
入院精神障害者数 (H29年6月時点)	合計	2,906	人		
	3か月未満 (%:構成割合)	380	人		
		13.1	%		
	3か月以上1年未満 (%:構成割合)	599	人		
		20.6	%		
	1年以上 (%:構成割合)	1,927	人		
	66.3	%			
	うち65歳未満	710	人		
	うち65歳以上	1,217	人		
退院率 (H28年時点)	入院後3か月時点	64	%		
	入院後6か月時点	76	%		
	入院後1年時点	85	%		
相談支援事業所数 (H30年4月時点)	基幹相談支援センター数	3	か所		
	一般相談支援事業所数	31	か所		
	特定相談支援事業所数	75	か所		
保健所数 (H30年4月時点)	5	か所			
(自立支援)協議会の開催頻度 (H29年度)	(自立支援)協議会	1	回/年		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況 (H30年3月時点)	都道府県	有	無	0	か所
	障害保健福祉圏域	有	無	1 / 4	か所/障害圏域数
	市町村	有	無	0 / 15	か所/市町村数

	3ヶ月未満入院者数		3か月以上1年未満入院者数		1年以上入院者数		政策効果による地域移行数	合計	
平成27年6月末	487	人	485	人	1,974	人		2,946	人
平成28年6月末	501	人	438	人	1,962	人		2,901	人
平成29年6月末	380	人	599	人	1,927	人		2,906	人
平成32年度末		人		人		人	373		人
平成36年度末		人		人		人	828		人

## 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

### 精神科病院

#### 現状

- ・県内精神科入院患者の約2/3が本人の意思によらない入院
- ・入院患者のうち2/3以上が1年以上の長期在院
- ・入院患者の過半数が65歳以上の高齢者
- ・精神保健福祉法の改正により、医療保護入院患者の入院期間は、原則、1年未満となった（H26.4.1 施行）

#### 課題

- ・新設の退院後生活環境相談員を含めた病院スタッフの意識・知識不足
- ・精神科病院スタッフと地域の援助事業者（福祉・介護など）との連携不足
- ・精神科入院患者の退院意欲の低下・諦め
- ・病院内における退院に向けた体制・仕組みの欠如

#### 必要な措置

- ・病院内において退院支援の中心的役割を担う人材の育成
- ・福祉・介護サービス、地域相談支援サービス等の周知
- ・外部事業者との連携体制構築
- ・ピアサポート等による入院患者の意欲喚起
- ・多職種による退院支援体制・スキームの構築

### 地域

#### 現状

- ・精神科入院患者の減少と通院患者の増加
- ・障害福祉サービス利用の増加
- ・都道府県介護保険事業計画策定にあたっては精神障害者の地域移行状況を踏まえるよう通知（H26.10.24）

#### 課題

- ・移行先となる家族・地域住民の不安、理解不足
- ・住居がない精神障害者の住まい確保
- ・地域生活を支える医療福祉サービスの拡充
- ・通院・服薬管理が不十分な精神障害者への対応
- ・地域生活を支えるサービス事業所、行政職員の意識・知識不足

#### 必要な措置

- ・ピアサポーターの活用を含めた精神障害への理解促進
- ・グループホーム等住居の拡充
- ・精神科訪問看護の拡充と従事者のスキルアップ
- ・多職種アウトリーチによる精神障害者のサポート
- ・地域相談支援サービスの周知と活用促進

・病院内の退院支援  
 ・地域移行支援の個別給付  
 ・厚生センターの調整等

働きかけ、必要な支援等

行政

県 厚生センター	【厚生センターの主な業務】 企画調整、普及啓発、研修、組織育成、相談、訪問指導、社会復帰及び自立と社会参加への支援、入院及び通院医療関係事務、ケース記録の整理及び秘密の保持等、市町村への協力及び連携
市町村	【市町村の主な業務】 企画調整、普及啓発、相談指導、社会復帰及び自立と社会参加への支援、入院及び自立支援医療関係事務、ケース記録の整理及び秘密の保持、その他

平成19年度

～ 20年度 **精神障害者地域移行コーディネーター養成事業**

- ・ 社会福祉法人や医療法人における精神保健福祉士等を地域移行コーディネーターとして退院支援の専門家を養成

平成21年度～ **精神障害者地域移行支援特別対策事業開始**

- ・ 地域自立支援協議会7圏域ごとに、厚生センター等に地域体制整備コーディネーター（～H25）、相談支援事業所に地域移行推進員を配置
- ・ 県精神障害者地域移行支援事業検討会を設置（～現在）

平成23年度 **精神障害者地域共生支援事業開始**

- ・ ピア・フレンズ養成を開始

平成24年度 **高齢長期入院患者退院支援事業開始**

- ・ 精神科病院に委託し、高齢長期入院患者の退院支援を実施（～H26）

平成26年度 **精神障害者地域移行推進人材育成研修開始（～現在）**

平成27年度 **精神障害者地域サポート強化事業開始**

- ・ 精神科訪問看護師育成支援事業（～現在）
- ・ ピア・フレンズ派遣事業（～現在）

**精神障害者アウトリーチモデル事業開始（～H29）**

平成30年度 **精神障害者アウトリーチ事業開始（県内全域へ対象を拡充）**

**精神障害者の地域移行支援事業開始**

- ・ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業
- ・ 精神障害者支援人材育成研修事業

## 4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組における強みと課題

## 【特徴(強み)】

1. 各圏域において、地域移行支援に関する協議の場がある。
2. 保健・医療・福祉関係者の地域移行人材育成研修企画チームがある。(研修内容の充実、関係者間の連携)
3. ピア・フレンズの活動の拡充。アウトリーチチームがある。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する視点別の認識(取組)	
<p>1. 入院患者のうち、1年以上の入院患者の割合(66%)、高齢者の割合(62%)が高い。</p> <p>2. 長期入院患者の地域移行について、病院内と地域からの両方の支援の充実が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各圏域における地域移行推進に向けた取組を強化する。</li> <li>・ピア・フレンズによる長期入院患者の意欲向上、家族や関係者等への精神障害の理解の促進を図る。</li> <li>・病院、相談支援事業所等、地域移行に関する人材を育成する。(精神障害者地域移行推進人材育成研修)</li> <li>・介護支援専門員、相談支援専門員等の精神障害者支援に関する研修の実施(精神障害者支援人材育成研修事業)</li> </ul>	行政側	各圏域における地域移行推進に向けた取組を強化する。
		医療側	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟看護師の意識の向上、精神保健福祉サービス等地域の資源を知ることが必要。</li> <li>・入院患者の高齢化が進んでいる。</li> </ul>
		事業者側	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害と介護サービスの連携がうまく進まない。</li> <li>・24時間体制の支援について、構築支援事業で検討できると良い。</li> </ul>
		関係機関・住民等	地域に退院しても受入先や家族自身の理解や受けとめが難しいことがある。

課題解決の達成度を測る指標	指標の設定理由	現状値(H29)	目標値(H30)
①ピア・フレンズの派遣施設数	退院意欲の向上、精神障害に関する理解の促進	延べ11施設	延べ16施設
②地域移行に関する人材の育成数	人材育成の継続実施	89人	89人
③「介護支援専門員等への研修」の参加者数	介護分野、身体・知的分野での精神障害の理解の促進	0人	40人

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

## 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた 平成30年度の実行スケジュール

### 平成30年度の実行目標

1. ピア・フレンズ派遣による医療と地域への支援の充実
2. 新川圏域の課題への対応、また、新川圏域の今年度の実行内容を他圏域と情報共有し、地域移行支援を波及
3. 各圏域の地域移行の核となる人材の育成、地域での精神障害に関する理解の促進

時期(月)	実施する項目	実施する内容	該当する目標番号
H30.4月～ 随時	研修会 研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピア・フレンズ派遣の実施</li> <li>・精神障害者アウトリーチ事業の実施</li> <li>・ピア・フレンズ養成研修の実施</li> <li>・新川圏域研修の実施</li> </ul> (モデル圏域における包括ケアシステム構築に係る課題や取り組みの共有化を図る)	
	研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害者地域移行推進人材育成研修</li> </ul> (各職種で核になる人材の育成、昨年度の実行計画の進捗状況の確認、新川圏域での取り組みの共有)	
	研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害者支援人材育成研修事業</li> </ul> (より多くの事業所で精神障害者の受け入れができる体制作りのための人材育成)	
	研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科訪問看護師育成事業の実施</li> </ul>	
H31.3月	協議会 検討会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県自立支援協議会精神部会の開催</li> </ul> (県精神障害者地域移行・地域定着推進検討会)	

## 6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた指標の推移と目標値

NO	指標	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 32年度	平成 36年度
①	1年以上の精神科病院在院患者数(人) (各年6月30日現在)	1974	1962	—	1565	—
②	各年度 地域移行支援利用者数(実人数)(人)	3	3	—	—	X
③	②のうち、退院した者の数(実人数)(人)	未把握	未把握	—	—	
④	ピアサポーターの養成者数(実人数)(人)	15	23	—	—	
⑤	④のうち、活動している者の数(実人数)(人)	14	20	—	—	
⑥	地域移行を促す基盤整備	X			373	
⑦	治療抵抗性統合失調症治療薬の普及					289
⑧	認知症施策の推進					30

目標値

## 【記入上の留意点】

- ③について ※利用年度の翌年度以降に退院した者については、利用年度に計上して下さい。  
※退院後に再入院となった者については、退院した者(1人)として計上して下さい。
- ⑤について ※養成年度以降に、実際の活動を開始した者については、養成年度へ計上して下さい。
- ⑥⑦⑧について ※障害福祉計画上に明記した地域移行者数(地域移行に伴う基盤整備量(利用者数))を踏まえ、記載して下さい。  
※⑥・⑦・⑧のそれぞれの値を分けて記載できない場合は、⑥+⑦+⑧の合計値を記載して下さい。